

舞鶴商工会議所の紹介

歴史と目的・組織

全国で141番目に設立

商工会議所の
歴史

商工会議所は明治11（1878）年に英国を模範にして、2021年のNHK大河ドラマの主人公、渋沢栄一が創設。東京、大阪、神戸に設立されています。舞鶴商工会議所は、昭和21（1946）年10月19日に全国で141番目、京都府下では2番目に設立されました。なお現在、全国には515の商工会議所があります。

商工会議所の
目的

市内で唯一の総合経済団体です

商工会議所は、商工業の振興発展と社会一般の福祉の増進を目的に、市内唯一の「総合経済団体」として活動をしています。

商工会議所の
組織

小西会頭を先頭に舞鶴の未来づくり

会員は、約千事業所です。小西剛会頭をはじめ、3人の副会頭、参与・専務理事・常務理事各1人、監事3人。さらに常議員が25人。そして、1号議員は31人、2号議員が19人、3号議員は1人。それに企画立案組織として7委員会、推進組織の10部会があります。

主要な事業

未来に輝く舞鶴へ 総力

国・府・市への提言要望活動

商工会議所には、最重要な事業として、国等への「提言要望活動」があります。特に、地域経済の振興発展のため、全国の515商工会議所とのネットワークを活かし、日本商工会議所（東京都）と一体となって、政府や各省庁に対し「政策提言活動」を実施しています。

一方、舞鶴商工会議所独自に、会員企業の意見要望を集約して、京都府や舞鶴市に対し、より地域に密着した内容について要望を行っているところ

です。また、舞鶴市、舞鶴市議会などとともに、道路整備や京都舞鶴港の振興、市街地の治水対策など、喫緊の課題について、国・京都府などに対し要望活動を行っています。

経営相談

きめ細やかに対応

舞鶴商工会議所では7人の経営支援員が、会員事業所からの様々な経営相談について、「寄り添いながら、きめ細やか」に対応しています。